



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

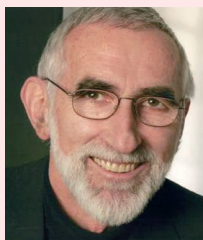
2016 年度部会各賞受賞者の紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、毎年度、Lectureship Award (LA), 科学奨励賞, 技術奨励賞の各賞を顕著な業績を挙げた方々に授与しています。本年度の受賞者をご紹介します。

Lectureship Award

LA は、「当該分野で著しい活躍をされておられる、あるいは将来この分野での活躍が期待できる著名な研究者」に対する国際賞です。本年度は、Otto Glatter 教授 (University of Graz, Austria) と Zhongfan Liu (劉忠範) 教授 (北京大学, 中華人民共和国) のお二人が選ばれました。



O. Glatter 教授



Z. Liu 教授

Glatter 教授は、コロイド・界面化学のみならず、広い分野で有用な X 線小角散乱法の草分け的存在です。理論的背景の確立、解析法の開発、装置の開発などで先導的役割を果たされ、最近、産業界への応用を目指し、化粧品、医薬品分野等への適応を進め、コロイド・界面化学の発展に寄与されました。Liu 教授は、中国で研究活動を進めている初の受賞者となります。日本で修士 (横浜国立大学) を取得され、博士の学位は、東京大学で藤嶋昭先生の下で取得されています。その後北京大学へ招聘され、今や中国での

ナノ材料科学、特にその表面・界面・ナノテクノロジーに関する国家的リーダーです。特に Nature とその姉妹誌に多数の論文が掲載されています。

科学奨励賞

科学奨励賞は、コロイド・界面化学分野で新しい科学を作った、または作りつつある 40 歳未満の、大学や研究所などアカデミアに属する研究者へ贈られるものです。受賞者は、武仲能子氏 (産業技術総合研究所・主任研究員) と村上良氏 (甲南大学・准教授) のお二人です。



武仲 能子 氏



村上 良 氏

武仲氏の受賞研究は、「高アスペクト比金ナノロッドの高収率合成法の開発と応用可能性の拡大」です。武仲氏は、それまでたかだか 400 nm 程度の長さであった金ナノロッドに対し、1 μm を超える高アスペクト比の金ナノロッドを 90% を超える高収率で合成する手法を開発した業績が高く評価されました。村上氏の受賞研究は、「液体の粉体化についての研究」です。微粒子からなる界面吸着膜がエマルションや泡などの分散系を安定化する現象についての業績、そしてドライリキッド (液滴が空气中に分散される系) の形成とその安定化要因を解明し、化粧品、医薬品、食品分野への新規応用を可能とする革新的技術を確立し

たことが評価されました。

技術奨励賞

技術奨励賞は、コロイド・界面化学分野で、新しい技術あるいは技術の芽を作った、または作りつつある、会社に所属する 45 歳未満の研究者・技術者へ授与されるものです。受賞者は、五十島健史氏 (三菱化学 科学技術センター・グループリーダー) です。受賞研究は、「コロイド・界面・ソフトマテリアルが織りなす複雑液体の視点からの商品開発 ～エレクトロニクス材料からヘルスケア材料まで～」で、エレクトロニクス材料、医薬・診断、機能化学材料など、分野を跨いだ多くの技術開発と特許取得が高く評価されました。



五十島 健史 氏

おわりに

来月旭川で行われる部会の討論会にて、各賞の受賞式と受賞講演が行われます。LA は、部会の国際化にも大きく寄与し、また奨励賞は、若手の方によるコロイドおよび界面化学のますますの発展を期するものであるとともに、部会活動のますますの活発化を期待するものでもあります。

募集要項および歴代受賞者は、

http://colloid.csj.jp/award/sub_guide.html に掲載されています。ご参照下さい。

(副部会長・賞選考委員長 松岡秀樹 (京都大学大学院工学研究科))

© 2016 The Chemical Society of Japan